

第 184 回 必須アミノ酸研究協議会 プログラム

日時：平成 19 年 3 月 9 日（金）午後 1 時

場所：東京大学農学部 2 号館 2 階化学 1 番講義室
（〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1）

1. 薬物異物受容体（AhR）受容体は、ユビキチン E3 リガーゼ複合体の構成因子である
加藤茂明、大竹史明（15 分）
（東京大学分子細胞生物学研究所 / ERATO）
2. ラット脂質代謝に及ぼす米タンパク質の影響（10 分）
加藤由希子、清水真樹、佐藤匡央、佐藤 光、今泉勝己
（九州大学大学院農学研究院生物機能科学部門栄養化学分野）
3. アミノ酸過剰投与による培養肝細胞の脂質代謝変動（15 分）
佐藤隆一郎、島田聡子、井上 順
（東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻）
4. マクロファージの活性化によるインスリン抵抗性：Cbl-b 遺伝子欠損マウスを用いた解析（10 分）
平坂勝也、河野尚平、中尾玲子、不老地治美、二川 健、岸 恭一
（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 生体栄養学分野）
5. 消化管内分泌細胞における食品ペプチドの認識とその情報伝達（15 分）
比良 徹、前川敏宏、原 博
（北海道大学大学院農学研究院）
6. 食餌タンパク質の量的・質的影響による脳タンパク質合成の変動における成長ホルモンとアミノ酸の役割（13 分）
辻岡和代、大住美穂¹、早瀬和利¹、横越英彦²
（桜花学園大学保育学部、¹愛知教育大学家政、²静岡県立大学食品栄養科学部）
7. 血漿ホモシステイン濃度調節における食餌コリンの役割（10 分）
杉山公男、瀬戸上 実、大内誠也、森田達也
（静岡大学農学部応用生物化学科）
8. ラットにおける D-ヒスチジンの体内利用性（15 分）
田中秀幸、徳舛孝志、¹徳久幸子
（宇都宮大・応用生物化学、¹女子栄養大 生化学）

9. 褥瘡患者の血中アミノ酸分析 (10分)
永井右来子、橋詰直孝、本 三保子、五十嵐紘美、志越 顕¹、上野ゆん子¹
(和洋女子大学家政学部, ¹京浜病院)
10. 性決定遺伝子 Sry の分子進化 - Sox-family における起源と分岐年代 - (15分)
長井光三、増山和花¹、斉藤成也²
(東医大生化、¹総研大遺伝、²国立遺伝研)
11. 「リービヒ肉エキス」のアミノ酸組成 (15分)
舩引龍平
(東京農工大学名誉教授)

委員会： 11時30分～13時

懇親会： 協議会終了後(17時30分頃から開始予定)